

## 【(1) 学習のルール】

- ④「机上の道具の置き方を決めている」

## 【(2) 教室環境】

- ②「机の上や周りを整理整頓するように指示している」
- ④「学習道具の置き場所を決めている」

### 《つまづきの背景》

A 刺激の影響の受けやすさ、F 視覚認知の困難さ、H 刺激の選択の困難さ、  
M 自己コントロールの困難さ、N 注意の持続の困難さ

### 《解説》

机の上や周りを整理整頓することで、落ち着いて授業が受けやすくなります。また、学習道具の置き場所を決めておくことで、準備や片付けを子どもが自主的にすることにつながります。

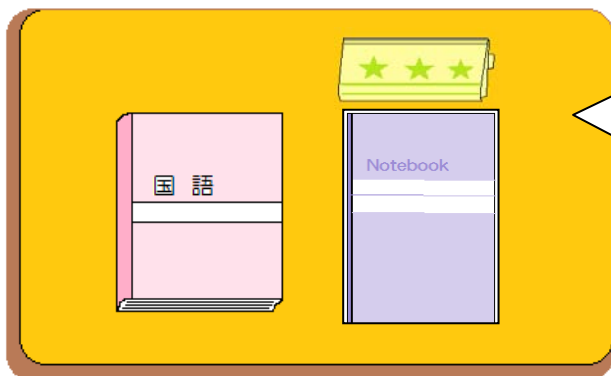
学級の中には、机の上や机のそばに授業に関係ないものがあると、気が散り、手遊びが増えたり、授業に集中できにくくなったりする子どもがいる場合があります。整理整頓することで、刺激となる物が減り、授業に集中しやすくなります。また、学習道具の置き場所を決めておくことで、どこに何があるかが分かりやすくなり、準備や片付けがしやすくなります。

机の上に出す物や学習道具の置き場所を絵や写真で示すようにすると、更に分かりやすくなります。

### 【工夫点】

- ・机の横には不要な荷物を提げないようにさせる。(小中)
- ・机の上には授業に必要な物だけ準備させる。(小中高 工夫例 12)
- ・机の位置がそろうようにする。(小中高 工夫例 13)
- ・学習道具の置き場所を決め、子どもが片付けられるようにする。(小中)

### ◆工夫例 12「机の上には授業に必要な物だけ準備させる」



#### 《国語(中学校)》

授業の最初に、机の上に必要な物だけが出ているか確認することで、ほとんどの子どもは授業前に準備できるようになります。できていない子どもには、必要な物の写真や絵を提示すると、すぐに気が付き口頭で注意しなくても準備できるようになります。

### ◆工夫例 13「机の位置がそろうようにする」



#### 《高等学校》

教室の床材の幅を利用するなどして、机の前後の間隔がそろうように指示します。最初は教師が机の位置をそろえるように注意しますが、ルールを示すことで、子ども自身が気を付けるようになってきます。